

# 県政運営評価戦略会議

## 環境にやさしい農業に 取り組んでいます



普及啓発ポスター  
絵画コンクール優秀作品

「生き物がいっぱいの田んぼ」

平成23年度徳島県「環境にやさしい農業」普及啓発ポスター用絵画コンクール最優秀作  
西麻植小学校4年 前田颯くん

農林水産部

# いけるよ！徳島・行動計画 農林水産部の取組

## 「環境首都・先進とくしま」の実現

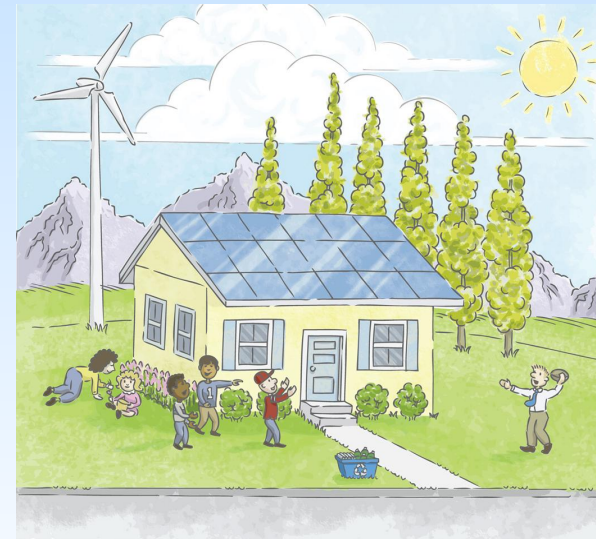
1 再生可能エネルギーの普及促進

2 自然環境に配慮した公共事業の推進

3 環境への負荷の少ない「持続性の高い農業」の推進

4 鳥獣被害防止対策

5 豊かな森林づくり



# 1 再生可能エネルギーの普及促進

エネルギーの地産地消・優れた地域資源の有効利用



夏子ダム

○再生可能エネルギーの導入調査(H23実施)

モデル地区の候補地選定と概略設計

- ・ 太陽光発電 **1地区** (吉野川北岸土地改良区)
- ・ 小水力発電 **2地区** (夏子ダム、旧府能小水力発電跡地)

○全量固定価格買取制度による普及促進

再生可能エネルギー発電事業に関する知識・情報の普及  
耕作放棄地、農業施設などに設置促進

(H23. 8 法律制定)

(H24. 6 単価決定)

※ 国への政策提言「中山間地域での発電促進のための支援制度」の創設



集落排水処理施設



## 2 自然環境に配慮した公共事業の推進

「徳島県田園環境配慮マニュアル」などに基づき、工事前に自然環境調査を実施。

○自然環境調査に基づく事業計画策定地区数  
平成23年度までに **45地区**

○自然環境調査により、絶滅したとされていた  
カワバタモロコを58年ぶりに再発見。



県内では絶滅！  
とされていたカワバタモロコ

○ 水産研究所で増殖に成功  
本来の生息地に戻す産官学協カプログラムを実施中

○ 試験飼育の協定締結  
(大津西小学校、日亜化学工業(株)、大塚製薬(株))

(現在試験飼育中)



協定締結式  
(平成24年6月)



## 2 自然環境に配慮した公共事業の推進

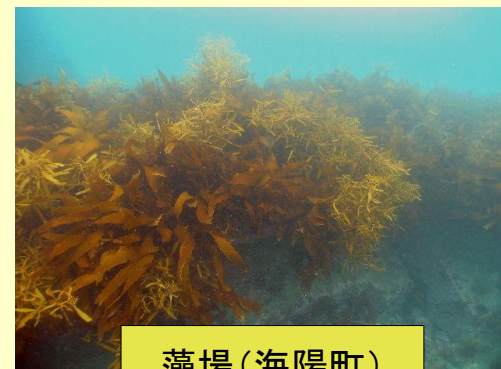
良好な漁業環境回復に向けた藻場の造成。  
(海水温度上昇により藻場が減少)

### 藻場の役割

水生動物の産卵場、稚魚の保育場

「海のゆりかご」、CO<sub>2</sub>の削減

水産資源の増加に大きな役割を担う



藻場(海陽町)



ウニによる食害

### 海の中の「森」づくり

藻場の造成箇所数

平成23年度までに

**12カ所で造成**

今後、より効果的な藻場造成の研究



### 3 環境への負荷の少ない「持続性の高い農業」の推進

- ・温室効果ガスの削減に向けた取組を数値化。
- ・環境配慮のブランド育成。

#### ■ 農業分野でのCO2排出削減量の「見える化」推進事業

- 農業分野における「見える化」モデル生産者数  
目標: 200戸 (H26)  
実績: 75戸 (H23)



#### ■ 使用済農業用フィルムの回収

県下一体的に収集・処理

回収率

H23年実績: 95%



量販店における「見える化」フェアの開催



## 4 鳥獣被害防止対策

「徳島県鳥獣被害防止センター」を中心に総合的に推進。

○ 平成23年度の鳥獣被害金額は減少

H22被害： 1億5千600万円 → H23被害： 1億2千900万円

### 集落で取り組んだ防止施設等の整備

平成23年度整備実績

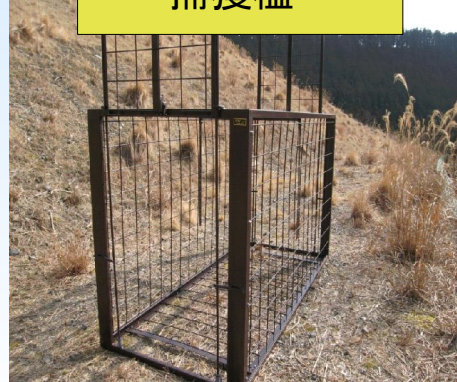
○ 集落で取り組んだ防止施設等の整備  
侵入防止柵 314.2Km 捕獲檻 170基

○ モンキードッグの育成頭数 11頭（累計30頭）  
○ テレメトリー調査 7市町村

ネット柵設置



捕獲檻



モンキードッグ



テレメトリー調査



## 5 豊かな森林づくり

### 1 森を支える体制づくり

◎県民や企業・NPOなど  
県民総ぐるみで  
森を支える体制を構築



設立総会



森林づくり講演会

◆とくしま森林づくり県民会議設立(H23.8)  
会員数:122団体

### 2 公有林化

◎水源などの重要な森林について、  
「管理放棄」や「外国資本」の買収に対抗す  
るため公有林化を推進

◆「公有林化」面積の拡大(累計)  
『実績』→(H23)758ha

※ 国への政策提言「公有林化を促進する支援制度」の創設